

電機リストラから雇用と地域経済を守る会(略称)結成 25日、違法な退職強要は止めよ!と労働局交渉

大阪労働局「啓発・指導は、問題があれば引き続き行う」と回答

シャープ、パナソニック、NECなど電機大手の身勝手な13万人リストラの中止で、労働者の雇用と地域経済を守ろうと10月17日、大阪で実行委員会を発足させました。

早速10月25日には、シャープの退職強要が止まることなく執拗に退職強要が行われている実態を示し、労働局が退職強要が止まるまで啓発・指導を強化すべきと申し入れ・交渉を行いました。

参加者からは、会社側から「退職して下さい」「君のいる場所はない」と露骨に言われ、中には再就職支援会社まで同席して退職を迫られていると告発しました。同行された山下芳生日本共産党参議員から「退職強要が止まるまで、啓発・指導を行うべきだ」と労働局の対応を迫り、労働局側は「啓発・指導は1回で終わるものではない。問題があれば引き続き行っていく」と答えました。



大阪労働局との交渉。川辺大阪労連議長(25日)

電機リストラはやめろ!

- パナソニック工場前宣伝
11月2日(金) 7:30~
京阪「西三荘駅」前
- シャープ工場前宣伝
11月7日(水) 7:00~
南海本線「堺駅」西口



◆シャープの労働者からまたも告発メールが届きました。(裏面)30日、大阪労働局に告発にもとづきあらためて要請文を送りました。

※電機リストラ労働者を励ますピラ完成!

各地で積極活用を!(11月1日配送)

電機リストラ

大阪労連や日本共産党大阪府委員会などでつくる「電機等大企業のリストラから雇用と地域経済を守る実行委員会」は30日、大阪労働局に対し、シャープ(本社・大阪市)の「希望退職」強要をやめさせる啓発指導を行うよう求めて、要請文を送付しました。

要請は、25日に行った交渉で、労働局側が「本人からの相談がなくても情報をつかんだら対応する」「改善がされなけ

大阪労働局に「会」が要請

シャープに 啓発指導を

れば何度でも「啓発指導」を行う」と確認したうえで、在阪事業所に勤務する労働者から、断っているにもかかわらず「早期退職」を強要する実態を知らせてきたと指摘しています。

奈良県のシャープ労働者からも「早期退職を迫られているが、どうすれば断ることができるか教えてほしい」との相談が寄せられていると告発。「多くの労働者と家族の生活の糧が守れるかどうかは、大阪労働局のシャープ本社への指導いかにかかっている」として、理不尽な「早期退職強要」をやめるまで、徹底した指導を求めています。

シャープで行われている退職強要の実態を告発

【面談1回目】

会 社：会社としては、あなたには辞めて頂きます。→労働者：辞めるつもりはありません。

会 社：次回また呼び出ししますので検討しておいて下さい。

【面談2回目】

会 社：検討した結果を聞かせて下さい。→労働者：希望退職は応募しません。

会 社：職場が変わる可能性があります、残りますか？応募しない理由を聞かせて下さい。

労働者：私はもうこの歳ですし、障害があるので、再就職は厳しいです。

会 社：次回また呼び出しします。

【面談3回目】

会 社：その後どうですか？→労働者：気持ちは変わりません。

会 社：前回も言ったように、あなたのポジションはこの部門には無いので、検討して欲しいというお願いをしたんですけど、ここに残りたいですか？

労働者：はい、ここで頑張りたいと思います。

会 社：転勤しなきゃいけない場合もありますよ。→労働者：今回は希望退職の募集ですね？

会 社：そうです。→労働者：希望退職は申し込みしません。

会 社：前回も言ったように会社の状況は、この部門にはポジションは無いという結論になったので、よく考えて欲しいというお願いをしたんです。

労働者：希望退職の申し込みじゃないんですか？

会 社：希望退職の申し込みですよ。→労働者：希望退職の申し込みはしません。

会 社：今回再就職とかは考えられないということですか？

労働者：再就職は、この歳ですし、耳に障害があるので厳しいです。ここで頑張りたいと思います。

会 社：万が一転勤になっても会社の中で頑張りたいですか？

労働者：今回は希望退職の申し込みをするかしないかですね？

会 社：そうです。

労働者：転勤はまた別の話だと思います。

会 社：会社の状況とか、部門の状況とか話したんですけど、それでも残りたいですか？

労働者：状況はわかります。

会 社：また次回話し聞きます。